

## 武蔵野市における文化に関する施策・事業の整理

### 目次

<b>1. 現在取り組んでいる文化に関する事業</b> .....	<b>1</b>
1-1. 鑑賞を主とした事業.....	1
1-2. 活動(交流・創作)の機会となる事業.....	3
1-3. 市民による発表・公演のための事業.....	5
1-4. 小中学校における文化にかかわる学習・活動.....	6
1-5. 商店街や民間事業者等と連携した取組.....	7
<b>2. 文化に関する事業の主な主体</b> .....	<b>8</b>
2-1. (公財)武蔵野文化事業団.....	8
2-2. 武蔵野市民芸術文化協会.....	9
<b>3. 文化施設の概要と特徴</b> .....	<b>10</b>
3-1. 武蔵野市の文化施設一覧.....	10
3-2. 文化施設の特徴.....	11
3-3. 「文化に関する市民アンケート調査」に見られる利用状況.....	16
<b>4. 市内の文化的要素～ヒト・拠点～</b> .....	<b>20</b>
4-1. ライブハウス.....	20
4-2. ギャラリー.....	20
4-3. 劇場・劇団.....	21
4-4. 市内に住むアーティスト・作家等.....	21
<b>参考：武蔵野市の人口・財政</b> .....	<b>22</b>
1. 将来の人口.....	22
2. 財政の長期予測.....	23

この資料は、武蔵野市における文化に関する事業のうち、主に文化芸術の鑑賞や活動機会の提供、きっかけづくりなどを中心として、とりまとめたものです。あわせて、その担い手や鑑賞および活動の場について挙げています。

# 1. 現在取り組んでいる文化に関する事業

## 1-1. 鑑賞を主とした事業

### (1) 音楽・芸能等の鑑賞機会

#### ① 市民文化会館等におけるクラシック、芸能等の公演 市民全般

- 武蔵野市では、(公財)武蔵野文化事業団が、指定管理者として管理・運営している市民文化会館等にて、広く市民に向けて音楽を鑑賞する事業を実施しています。
- 演目は、オペラ、オーケストラ、オルガン、室内楽、器楽、声楽、民族音楽、ポピュラーなど、幅広く実施していますが、特に市民文化会館のクラシックコンサートが特徴と言えます。

#### 【文化事業団による音楽・芸能等の公演：平成28年度事業実績】

公演形態	事業数	入場者数
主催・共催事業	101事業	22,024人
提携公演事業	1事業	

※主催・共催事業のうち、文化事業団が独自に演奏家を招聘した事業は11事業で、いずれもクラシックコンサートです。その他、共同で招聘した事業は2件あります。

※平成28年度は市民文化会館が改修中だったことから、武蔵境駅北口のスイングホールや周辺自治体のホールも利用し、公演を行っています。

#### ② 市民文化会館等における親子で鑑賞できる公演 子ども(親子)

- 市民文化会館等での公演や教育プログラムとして、親子で参加できる鑑賞機会として「子どものための夏休み特別企画」を開催しています
- 平成29年度はパントマイム劇、親子で楽しむ世界のタンバリンなどを予定しています。

#### 【文化事業団による音楽・芸能等の公演：平成28年度事業実績】

- 0歳からのワクワク・クラシック(主催公演)
- 親子で楽しむ爆笑寄席(教育プログラム)
- ニューヨーク・スタンダード・カルテット(教育プログラム)
- オルガンワンダーランド 夏休みファミリー・コンサート(教育プログラム)
- 親子で知るバレエの魅力(教育プログラム)

#### ③ 文化事業団による市内施設等へのアウトリーチ事業 市民全般 子ども(学校)

- 文化事業団では、市民文化会館等へ普段あまり来館する機会のない市民をターゲットとして、市内の施設等にて公演等を実施するアウトリーチ事業を行っています。
- 平成28年度より始め、コミュニティセンターにて三味線やピアノの公演を行ったほか、市民文化会館で公演する演奏者を小・中学校に派遣し、子どもたちにクラシック音楽を鑑賞する機会を提供しています。
- 平成29年度は第8回国際オルガンコンクールのプレイベントとして、クリーンセンター、商業施設等でのオルガンコンサートを行っています。

#### 【文化事業団によるアウトリーチ事業：平成28年度事業実績】

公演形態	事業数
市立小学校	9事業
コミュニティセンター	3事業

#### ④子育て中の親を対象とした鑑賞機会の提供：託児付きのモーニングコンサート **子ども(親子)**

- 武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課では、市内のライブハウスやレストランを利用し、子どもをもつ親を対象に、託児付きのモーニングコンサートを実施しています。
- 平成2年度からはじめ、年2回程度、継続的に実施してきた結果、平成29年7月現在は66回の実施を数えています。

##### 【平成28・29年度に会場となった市内ライブハウス】

- コリウス武蔵境（託児：スイングビル11F レインボーサロン）
- サムタイム（託児：商工会館 ゼロワンホール）

#### ⑤高齢者向けの鑑賞機会「敬老福祉の集い」 **高齢者**

- 武蔵野市高齢者支援課では、毎年、75歳以上の市民を市民文化会館に招待し、音楽や演芸を楽しむことのできる事業を毎年実施しています。

#### ⑥市民芸術文化協会による鑑賞機会の提供 **市民全般** **活動している人**

- 武蔵野市民芸術文化協会は、毎年春に「薫風フェスタ」を中心とした自主イベント、市からの受託事業として毎年秋には市民文化祭を開催し、邦楽、演劇、展示など様々な鑑賞の機会を提供しています。

※事業内容は1-3. 市民による発表・公演のための事業（1）発表の場づくりを参照

## (2)美術の鑑賞機会

#### ①吉祥寺美術館における各種美術展 **市民全般**

- 吉祥寺駅前の商業施設コピス内に立地する吉祥寺美術館（指定管理者：文化事業団）では、「浜口陽三記念室」「萩原英雄記念室」にて、版画家・浜口陽三氏と木版画家・萩原英雄氏の作品を常設で展示しています（展示替えは年4回程度）。
- 企画展示室では、年4～5回程度の企画展を実施しています。
- 企画展での入館料は300円、子ども、高齢者、障害者は無料で鑑賞できます。
- 平成28年度の企画展（計5回）の入場者数は58,216人でした。

##### 【平成28年度における吉祥寺美術館での企画展】

- 萩尾望都SF原画展
- 佐伯和子展～糸の葉
- 生誕120年 小林かいち展
- どいかや展～チリとチリ
- 青龍社の女性画家 小島鼎子展

## ②吉祥寺美術館における小学生向け鑑賞授業 **子ども(学校)**

○吉祥寺美術館では、市内の小学校と連携し、美術館にて作品鑑賞の授業も行っています。

## (3)演劇の鑑賞機会

### ①吉祥寺シアターでの演劇・ダンス公演 **市民全般** **子ども(親子)**

○吉祥寺シアター(指定管理者:文化事業団)では、主催・共催等のかたちで演劇やダンスの公演を実施しています。

○平成28年度は、演劇を中心に19事業を行っており、入場者数は26,119人となっています。

○そのうち、親子で鑑賞することができる『音楽劇 アラビアンナイト』を実施しており、4回の公演での入場者数はのべ544人となっています。また、関連イベントとして、市内図書館や児童館において「よみしばい」(俳優による台本のおはなし会的なイベント)を実施しました。

#### 【吉祥寺シアターでの公演:平成28年度事業実績】

公演形態	事業数	入場者数
共催事業	1事業	26,119人
提携事業	15事業	
協力事業	3事業	

※上記の事業数は演目を単位として数えており、複数回の公演がある場合も1事業としています。

## 1-2. 活動(交流・創作)の機会となる事業

### (1)文化施設におけるワークショップ

#### ①市民文化会館でのオルガンワークショップ **子ども**

○市民文化会館では、毎年夏に子ども向けにオルガンワークショップを実施しています(参加費500円)。

○平成28年度には、オルガンなどの楽器などを使った音楽をグループでつくり、実際に発表会を行うという内容で、2日間でののべ参加者数は33人となっています。

#### ②吉祥寺美術館における創作ワークショップ **市民全般**

○吉祥寺美術館では、参加者が実際に創作を体験できるワークショップを開催しています。

○平成28年度には3事業を行い、参加者数は124人となっています。

#### 【平成28年度における吉祥寺美術館でのワークショップ】

■佐伯和子展関連イベント ワークショップ「佐伯和子と作る、あなたの《糸の葉》」

■どいかや展関連イベント 美術館でワークショップ

■どいかや展関連イベント 美術館からおでかけワークショップ

### ③吉祥寺シアターにおける演劇・ダンスワークショップ **子ども**

- 吉祥寺シアターでは、劇作家、演出家、俳優等を講師に迎えた演劇ワークショップや、ダンサーによるダンスワークショップを実施しています。
- 平成28年度には2事業を行っています。
- 吉祥寺シアター演劇部は、平成23年度から始めた事業です。平成28年度は、中学生・高校生が劇作家・演出家といっしょに演劇をつくり、発表公演を行いました(参加費1,500円、発表公演は無料、参加人数10名)。
- 吉祥寺シアターダンス部は、平成24年度から始めた事業です。平成28年度は小学3～6年生がダンサー・振付師といっしょにダンスをつくり、発表公演を行いました(参加費1,000円、発表公演は無料、参加人数15名)。

#### 【平成28年度における吉祥寺シアターでのワークショップ】

- 吉祥寺シアター演劇部2016
- 吉祥寺シアターダンス部2016

### ④武蔵野プレイスにおけるワークショップ **市民全般**

- 武蔵野プレイスでは、プレイス・アート・プロジェクト(PAP)として、毎年、様々なアートイベントを開催しています。
- 平成29年度は、アーツカウンシル東京と一般社団法人Ongoingとの共催で、リアリー・リアリー・フリーマーケット(お金を介さないフリーマーケットと特別展示など)を開催しています。

## (2)文化を通じた高齢者の生きがいづくり

### ①老壮シニア「趣味の作品展」 **高齢者**

- 毎年、市民文化会館展示室にて、いきいきセミナー修了生で構成される市民団体・老壮連合会の会員の作品展が行われています。(平成28年度はスイングビル 参加:803名)

### ②社会活動センターにおける講座 **高齢者**

- 高齢者総合センターにある社会活動センターでは、年間又は半年などの、初心者を対象とした各種講座を開催しています。
- 健康づくりなどのほか、美術や音楽などの文化的な内容も幅広く取り扱われています。講座を通じて社会参加や仲間づくり、心身共なる介護予防の機会を提供しています。

## 1-3. 市民による発表・公演のための事業

---

### (1)発表の場づくり

#### ①市民文化祭 **活動している人**

- 生涯学習スポーツ課では、武蔵野市民芸術文化協会に企画・運営を委託するかたちで、毎年秋に市民文化祭を実施しています。
- 市民文化会館、スイングホール、公会堂、芸能劇場等を会場として、民謡、謡曲、日本舞踊等の公演、華道・美術等の展示といった行事が約2か月にわたって開催されます。平成28年度には31の行事が行われ、9,871名が参加しています。
- 市民文化祭には、芸術文化協会の加盟団体だけでなく、在住・在勤者からなるグループであれば参加することができます。

#### ②武蔵野アール・ブリュット2017 **活動している人** **障害者**

- 平成29年度には、武蔵野アール・ブリュット実行委員会により、公募による作品展示が、吉祥寺美術館等で開催されました。
- アートを通して障害のある方などへの理解を深め、多様性を大切にする地域づくりを進める取り組みです。

#### ③市民会館文化祭 **活動している人**

- 市民会館では、毎年10月に会館を利用する団体による発表会を実施しています。会場は市民会館のほか、音楽や芸能の公演のためスイングホールを利用しています。
- 平成28年度は、58団体が参加し、作品の展示(18団体、男女平等推進センター含)や公演(20団体)、講座(20団体)が実施されています。

### (2)文化を通じた市民交流

#### ①友好と平和の第九合唱 **市民一般**

- 平成29年度には、ブラショフ市との交流25周年を記念し、ルーマニア・ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団を招聘し、曾我大介氏の指揮のもと、ベートーヴェンの交響曲第九番を公募した市民約260名の大合唱団とともに演奏します。
- ※平成3(1991)年、武蔵野市出身でルーマニア国立ジョルジュ・ディマ交響楽団の指揮者だった曾我氏が資金難にあえぐ楽団への支援を武蔵野市に要請したことがきっかけとなり、翌年、武蔵野市ほか3市が共同で、交響楽団を招聘したことで、現在も続く交流が始まりました。

### (3)人材・団体の育成

#### ①市民の自主的な音楽団体の育成：武蔵野市民交響楽団 **活動している人**

- 生涯学習スポーツ課では、市内を拠点としている武蔵野市民交響楽団に対して、助成を行い、市民による音楽活動を支援しています。
- 市民交響楽団では助成金を活用し、楽団による演奏会のほか、市内小・中学校における部活動などの音楽活動の支援、中学生との音楽を通じた交流事業を行っています。

#### ②シティバレエによる公演活動 **活動している人** **子ども**

- 文化事業団では、子どもを含む市民がダンサーとして参加するシティバレエによる公演を支援しています。
- シティバレエは、昭和61(1986)年にはじめられて以来、毎年開催されています。オーディションで選ばれた市民がバレエ団員となり、約半年間のレッスンを受けた後、市民文化会館大ホールにて公演を行います。
- 平成28年度は、市民文化会館が改修中だったことから吉祥寺シアターを会場として、4回の公演を行い、744名の入場がありました。

#### ③生涯学習事業支援、子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援 **活動している人**

- 生涯学習事業：広く市民に向けて武蔵野らしさを活かした生涯学習の場を提供することを目的として補助金を交付します。(平成28年度：9団体交付)
- 子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援：18歳までの子どもを対象とした体験活動の活性化を目的として補助金を交付します。(平成28年度：13団体交付)

## 1-4. 小中学校における文化にかかわる学習・活動

---

### (1)鑑賞の機会

#### ①吉祥寺美術館における小学生向け鑑賞授業【再掲】 **子ども(学校)**

#### ②文化事業団による学校向けアウトリーチ活動 **子ども(学校)**

- 子どもたちがより身近で気軽に芸術文化に触れる機会を持つことを目的に、市内小・中学校と連携し、延べ9校にて、文化事業団主催公演で招聘した一流のアーティストによる演奏会を実施しました。平成28年度から開始された事業です。

#### ③文化施設における鑑賞会 **子ども(学校)**

- 市立小・中学校では、市民文化会館での演劇鑑賞を行っています。
- オーケストラ鑑賞は小学6年生、中学3年生が対象となっており、演劇鑑賞は小学3年生、中学1年生が対象となっています。

## (2)活動の支援・発表の場づくり

### ①音楽会、学芸会、文化発表会における成果発表 **子ども(学校)**

○市立小・中学校では、音楽会や学芸会、文化発表会など、様々なかたちで、生徒たちが音楽や演劇などを練習し、発表する機会をつくっています。

### ②小・中学校における音楽団体による音楽指導 **子ども(学校)**

○武蔵野市民交響楽団では、市立小・中学校のブラスバンドなどの部活動に対して音楽指導を行っています。

## 1-5. 商店街や民間事業者等と連携した取組

### (1)産業振興やまちの活性化に結びついた文化的イベント

#### ①吉祥寺音楽祭 **市民一般** **活動している人**

○吉祥寺活性化協議会により、毎年ゴールデンウィーク中に吉祥寺一帯で音楽イベントが行われています。

○平和通りや吉祥寺駅北口駅前広場、井の頭恩賜公園野外ステージなどの屋外のほか、武蔵野公会堂、吉祥寺シアターが会場となっています。また、吉祥寺のライブハウスでも連動したイベントが自主的に開催されています。

#### ②吉祥寺アニメワンダーランド **市民一般**

○市内にアニメスタジオや制作会社が多く事務所を持っていることから、吉祥寺活性化協議会により、毎年10月にアニメをテーマにして、映画祭をはじめとした様々なイベントが開催されています。

#### ③吉祥寺薪能 **市民一般**

○吉祥寺平和通り商店会協同組合が事務局となる実行委員会により、毎年10月、月窓寺境内にて薪能が開催されています。(雨天の場合は市民文化会館で蠟燭能となります。)

○平成27年には、野村万作、野村萬斎等が出演し、794名が来場しています。

※平成28年度は市民文化会館休館の関係で、実施ませんでした。

#### ④武蔵境JAZZ SESSION **市民一般** **活動している人**

○武蔵野市観光機構と武蔵境商店会連合会の共催により、毎年2月に、武蔵野市にゆかりのあるジャズミュージシャンが、プロ・アマを問わず参加するコンサートをスイングホールにて実施しています。

## 2. 文化に関する事業の主な主体

### 2-1. (公財)武蔵野文化事業団

#### (1)組織の概要

- (公財)武蔵野文化事業団は、「市民に優れた芸術文化を提供し、市民みずから行う芸術文化の創造活動を援助し、市民の文化、福祉の向上を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与すること」を目的として、昭和59(1984)年に設立されました。
- 平成29年4月1日現在で職員は40名です。そのうち4名が市派遣職員、9名が職員、27名が嘱託職員となっています。
- 組織は、施設管理課と事業課に分かれており、事業課については市民文化会館等における公演を企画・実施する公演事業係と吉祥寺美術館、吉祥寺シアターに分かれます。

#### (2)主な事業

- 組織としての主な事業は以下のとおりです。

- ・市民文化の振興を図るための文化事業の企画と実施
- ・地域文化の活性化を図るため、市民団体等の舞台芸術活動に対する援助
- ・武蔵野市から受託する文化施設の管理運営
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 上記の事業にある文化施設の管理運営に関しては、現在、市民文化会館、芸能劇場、公会堂、スイングホール、吉祥寺美術館、松露庵、吉祥寺シアター等の指定管理者として、管理・運営を行っています。
- これらの施設を中心として、前述のとおり芸術・文化にかかわる事業を展開しています。

#### (3)今後の方向性<ヒアリングより>

- 同事業団へのヒアリングによると、自主事業を積極的に行っている施設と施設の貸出が中心となっている施設に分けつつ、市民文化会館、吉祥寺美術館、吉祥寺シアターに加えて、継続的に自主事業を行っているスイングホールを、自主事業のもうひとつの拠点として位置付けていくことを模索しているという旨の意見が聞かれました。市民文化会館には音響は及ばないながらも、スイングホールの200席弱という座席数を活かした幅広い事業展開も想定された意見でした。
- 事業の内容としては、市民文化会館におけるクラシックコンサート中心の公演に対して観客層の高齢化や固定化に対する懸念があり、新たなジャンルへの展開や年齢層の拡大を課題として捉えていました。その一例としてクラシックの魅力を伝えるための小学校等のアウトリーチプログラムを継続的に実施することも考えられていました。ただ、そのためには人的側面や、事業の評価手法について課題があるという認識もかいまみられました。

## 2-2. 武蔵野市民芸術文化協会

---

### (1)組織の概要

- 武蔵野市民芸術文化協会は、昭和63(1998)年に157団体が集まるかたちで発足しました。平成29年度の時点での所属団体は140団体、会員数は3,344名となっています。
- 教室を主宰する先生と教え子だけでなく、アマチュアグループも協会に所属できることが特徴となっています。

### (2)主な活動

- 主な活動は以下のとおりです。

- ・芸術文化協会による自主イベントの実施
- ・市民文化祭の企画運営
- ・市民芸術文化講座の開催
- ・年間機関誌『翔』の発行
- ・その他各種行事、研修会等への出演者派遣

- 市民文化祭(P.5参照)は平成2年度から市から企画・運営を委託されており、市民文化団体の発表の場として取り組まれています。
- また、平成15年度からは松露庵を会場とした市民芸術文化講座も市から委託するかたちで開催されています。

### (3)今後の方向性<ヒアリングより>

- 同協会のヒアリングによると、これまで加盟の少なかった分野や若い世代を取り入れたいという考えから、成蹊大学や武蔵野大学の学生サークルを中心として市民文化祭への参加や協会への加盟を呼び掛けています。
- また、オリンピック・パラリンピックが開催されるタイミングで、協会に多く加盟する伝統芸能などの古典的な文化を外国人に紹介することで市に協力したいとも考えられていました。

### 3. 文化施設の概要と特徴

#### 3-1. 武蔵野市の文化施設一覧

- 武蔵野市は、昭和46(1971)年の第一期となる長期計画で示された「三層構造」とよばれる考え方に基づき、施設整備を行ってきました。
- 三層構造とは、生活空間を、地域生活単位としての「コミュニティレベル」、より広く交流を図るための「駅勢圏レベル」(市内3駅を核とした単位)、そして「市全域レベル」に分類し、3つのレベルごとに必要な施設を配置するという考えです。
- さらに、公共施設の設置にあたっては単一目的の施設建設をできるだけ避けるとともに、民間施設の活用も積極的に図るという考えです。
- 以上の考えに基づき、様々な公立施設を設置してきており、文化施設については以下のような配置となっています。

#### 【武蔵野市の文化施設】



※上記は、「武蔵野市公共施設白書」(平成23年)にて文化・集会施設に分類されている11の施設のうち、集会施設である市民会議室、かたらいの道 市民スペースを除いた施設です。さらに、平成26年に開館したふるさと歴史館を追加しました。

## 3-2. 文化施設の特徴

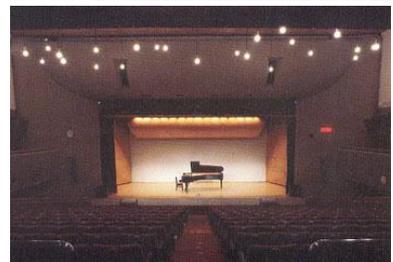
### (1) 武蔵野市民文化会館

- 設置目的 市民文化創造の拠点として、多目的の大ホールと音楽専用の小ホールをもち、展示室、会議室、茶室、和室を備える総合文化施設を設置する。
- 主たる施設 大ホール(1252席)、小ホール(425席)
- 付帯施設 練習室・リハーサル室、展示室、会議室等
- 事業内容 クラシックコンサートを中心とした主催事業、およびホール等の貸出
- 利用料金 大ホールを終日借りる場合、平日270,000円、土日祝324,000円(市民)  
※市外在住者は上記金額に2割加算
- 管理・運営 (公財)武蔵野文化事業団(指定管理者)
- 開館年 昭和59(1984)年開館、平成28年度改修
- 立地 JR三鷹駅よりバス10分程度
- その他特徴 平成27年度には大ホールにて11事業、小ホールにて75事業の自主事業が実施された。そのうち指定管理者である事業団が独自に招聘した事業は27ある。テレビ・ラジオを問わずNHKにて公演が中継されることが多く、平成27年度には9件あった。  
※平成28年度は市民文化会館が改修中だったことから、スイングホールや周辺自治体のホールを利用し、文化事業団による公演を行っています。



### (2) 武蔵野公会堂

- 設置目的 市民および地域社会の福祉の増進と文化の向上に寄与するため、多目的ホール、大会議室、茶道用水屋のある和室を備える公会堂を設置する。
- 主たる施設 ホール(350席)
- 付帯施設 会議室(6室)、和室等
- 事業内容 落語などの主催事業、およびホール等の貸出
- 利用料金 ホールを終日借りる場合、平日52,000円、土日祝75,000円(市民)  
※市外在住者は上記金額に2割加算
- 管理・運営 (公財)武蔵野文化事業団(指定管理者)
- 開館年 昭和38(1963)年開館
- 立地 JR吉祥寺駅より徒歩2分



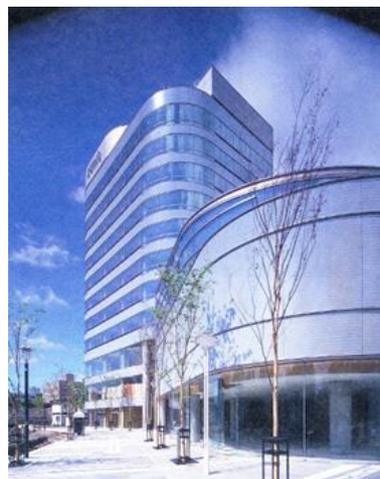
### (3)武蔵野芸能劇場

- 設置目的 郷土の古典芸能の保存、育成及び芸術文化の振興を図るため設置する。
- 主たる施設 小劇場(154席)
- 付帯施設 小ホール(150席、展示会使用可)
- 事業内容 落語などの主催事業、および小劇場・ホールの貸出
- 利用料金 劇場を終日借りる場合、平日45,000円、土日祝54,000円(市民)  
※市外在住者は上記金額に2割加算
- 管理・運営 (公財)武蔵野文化事業団(指定管理者)
- 開館年 昭和59(1984)年開館
- 立地 JR三鷹駅より徒歩2分



### (4)武蔵野スイングホール

- 設置目的 市民の創造性あふれる文化活動の場を提供するとともに、芸術文化の振興を図るため、完全防音構造のホールを有するスイングホールを設置する。
- 主たる施設 イベントホール(180席)、レセプションホール  
※イベントホールは平土間対応可
- 付帯施設 会議室
- 事業内容 小編成での音楽リサイタルを中心とした主催事業、およびホール等の貸出
- 利用料金 イベントホールを終日借りる場合、平日47,000円、土日祝55,000円(市民)  
※市外在住者は上記金額に2割加算
- 管理・運営 (公財)武蔵野文化事業団(指定管理者)
- 開館年 平成8(2006)年、複合ビルとともに開館
- 立地 JR武蔵境駅より徒歩2分



## (5) 吉祥寺シアター

- 設置目的 芸術文化の振興を図るため、演劇その他舞台芸術の創造、普及及び発信の拠点として設置する。
- 主たる施設 劇場(最大239席)
- 付帯施設 練習場
- 事業内容 主催事業や貸出による公演による自主事業、および劇場・練習場の貸出
- 利用料金 劇場を終日借りる場合、平日80,000円、土日祝100,000円(市民)  
※市外在住者は上記金額に2割加算
- 管理・運営 (公財)武蔵野文化事業団(指定管理者)
- 開館年 平成17(2005)年
- 立地 JR吉祥寺駅より徒歩5分
- その他特徴 平成27年度には開館10周年記念事業が主催にて実施された。そのほか、平成26年度には16件の公演(提携事業10件、協力事業5件)の実施、ダンスや演劇を体験する参加型のイベントが10件行われている。



## (6) 吉祥寺美術館

- 設置目的 市民が美術その他の芸術文化を享受することに寄与し、その創造及び発展に資するため設置する。
- 主たる施設 企画展示室(147.68㎡)、浜口陽三記念室(74.95㎡)、萩原英雄記念室(75.73㎡)
- 付帯施設 音楽室
- 事業内容 企画展示を中心とした主催事業、および展示室の貸出
- 利用料金 展示室を終日借りる場合、20,000円  
※市外在住者は上記金額に2割加算
- 管理・運営 (公財)武蔵野文化事業団(指定管理者)
- 開館年 平成14(2002)年、FFビル(コピス吉祥寺A館)内に開設
- 立地 JR吉祥寺駅より徒歩3分
- その他特徴 平成27年度には、浜口陽三記念室、萩原英雄記念室にて常設展を各4件実施された。そのほか企画展が5件、ワークショップやトークイベントが18件行われている。



## (7)松露庵

- 設置目的 市民が茶会等の日本の伝統的文化に親しむ場として設置する。(市立古瀬公園内の一角を占める旧古瀬邸を改修。)
- 主たる施設 茶室
- 付帯施設 ー
- 事業内容 主催事業、および茶室の貸出
- 利用料金 終日借りる場合4,000円
- 管理・運営 (公財)武蔵野文化事業団(指定管理者)
- 開館年 平成15(2003)年開設(旧古瀬邸は昭和15年建設)
- 立地 JR武蔵境駅より徒歩15分



## (8)武蔵野市民会館

- 設置目的 社会教育の振興を図るとともに、市民及び地域社会の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、設置する。
- 主たる施設 講座室、学習室、会議室、多目的ルーム等
- 事業内容 子ども向けワークショップや講座等の主催事業、および施設の貸出
- 利用料金 諸施設を終日借りる場合、2,800~6,000円
- 管理・運営 武蔵野市(直営)
- 開館年 昭和59(1984)年開設
- 立地 JR武蔵境駅より徒歩6分



## (9)武蔵野プレイス

- 設置目的 市民の多様な活動および学習の場を創出することにより、市民文化の振興を図ることを目的として設置する。
- 主たる施設 会議室、スタジオ、ギャラリー、図書館
- 事業内容 生涯学習支援(武蔵野地域自由大学、老壮シニア講座、土曜学校、ギャラリーコンサートなど)  
市民活動支援(啓発事業、市民活動団体企画事業など)  
青少年活動支援(ロビーワーク、青少年自主企画事業など)  
図書館
- 利用料金 諸施設を終日借りる場合、2,000～23,800円  
※市外在住者は上記金額に2割加算
- 管理・運営 (公財)武蔵野生涯学習振興事業団(指定管理者)
- 開館年 平成23(2011)年開設
- 立地 JR武蔵境駅より徒歩2分



## (10)武蔵野ふるさと歴史館

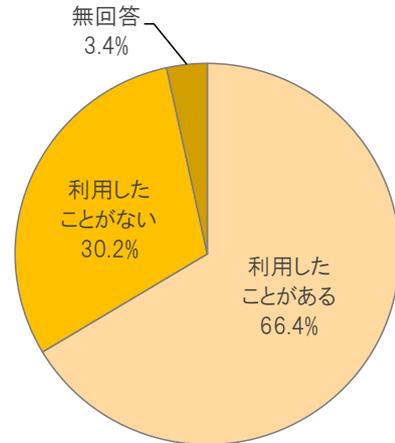
- 設置目的 武蔵野市の歴史を未来へ継承する地域の歴史を学ぶ拠点としての機能を提供する歴史資料を媒体とした市民交流拠点としての機能を提供する。
- 主たる施設 展示室、市民スペース、会議室、収蔵庫
- 事業内容 博物館機能:歴史的価値の有する資料の収集  
保管・展示普及など  
公文書館機能:歴史公文書の選別・保存・公開
- 利用料金 貸会議室は終日借りる場合、2,000円
- 管理・運営 武蔵野市(直営)
- 開館年 平成26(2014)年開設
- 立地 JR武蔵境駅より徒歩12分



### 3-3. 「文化に関する市民アンケート調査」<sup>1</sup>に見られる利用状況

#### (1) 武蔵野市民文化会館

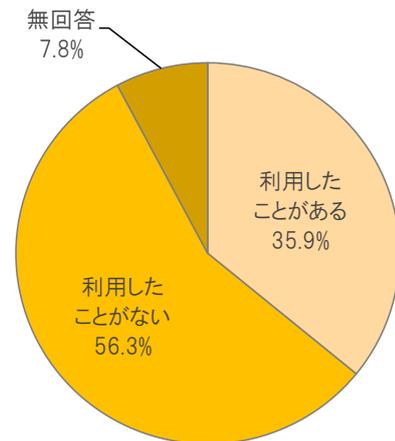
- 過去に武蔵野市民文化会館を利用したことのある人は66.4%です。
- 文化に関心のない人や鑑賞、文化的な活動をしていない人も5割以上が利用したことがあります。
- 若い世代も半数以上が利用したことがあります。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」は1割未満、「利用する必要・機会がない」も2割程度と、他施設に比べて少なくなっています。



市民文化会館の利用の有無

#### (2) 吉祥寺美術館

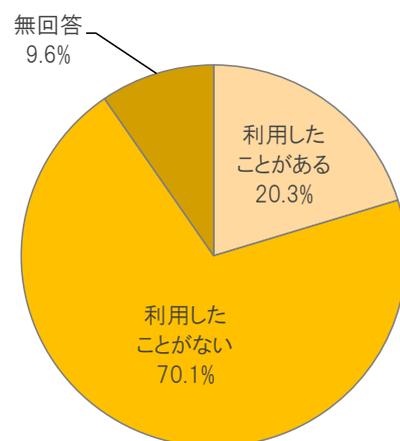
- 過去に吉祥寺美術館を利用したことのある人は35.9%です。
- 60歳以上での利用が多くなっている一方、30～50歳代の男性と10～20歳代の女性での利用が、他の世代に比べて少ないです。
- 文化に関心のない人では、利用したことがない人が8割を上回ります。
- 利用しない理由としては「施設を知らない」が2割強、「利用する必要・機会がない」が3割半ばとなります。



吉祥寺美術館の利用の有無

#### (3) 吉祥寺シアター

- 過去に吉祥寺シアターを利用したことのある人は20.3%です。
- 文化に関心のある人や鑑賞、文化的な活動をしている人も、利用したことのある人は約2割です。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」が2割半ば、「利用する必要・機会がない」は4割半ばになります。

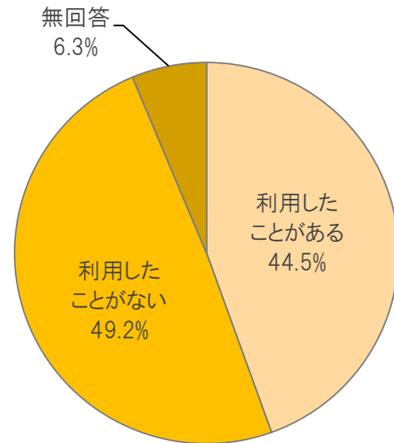


吉祥寺シアターの利用の有無

<sup>1</sup> 「文化に関する市民アンケート調査」は、平成28年11月に、18歳以上の武蔵野市民2,000人を対象として実施しました。回答率は37.9%(回答数758人)です。

#### (4) 武蔵野スイングホール

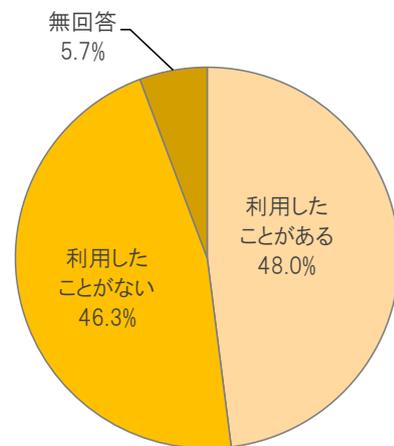
- 過去に武蔵野スイングホールを利用したことのある人は44.5%です。
- 若い世代の利用が、他の世代に比べて男性・女性ともに少なくなっています。また、年齢が低くなるほど、利用しない理由として「施設を知らない」が増えます。



武蔵野スイングホールの利用の有無

#### (5) 武蔵野公会堂

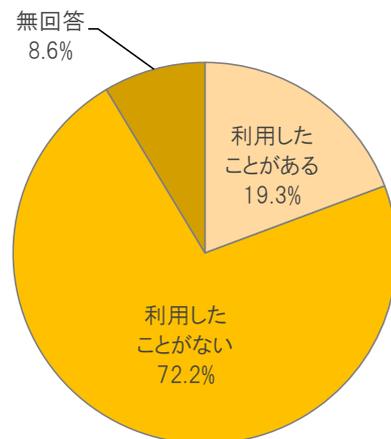
- 過去に武蔵野公会堂を利用したことのある人は48.0%です。
- 若い世代、特に男性において利用が少なくなっています。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」が1割半ばですが、うち10～20歳代の男性では4割となっています。
- 「利用する必要・機会がない」は3割程度となっています。



武蔵野公会堂の利用の有無

#### (6) 武蔵野芸能劇場

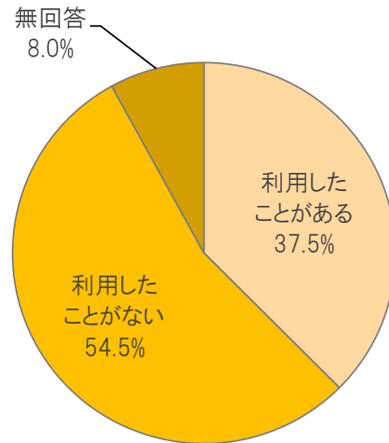
- 過去に武蔵野芸能劇場を利用したことのある人は19.3%です。
- 若い世代の利用が特に少なくなっています。
- 文化に関心のある人や鑑賞、文化的な活動をしている人も、利用したことのある人は2～3割となっています。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」が3割弱ですが、利用の少ない若い世代では5割程度となっています。
- 「利用する必要・機会がない」という理由は4割半ばとなっています。



武蔵野芸能劇場の利用の有無

### (7) 武蔵野市民会館

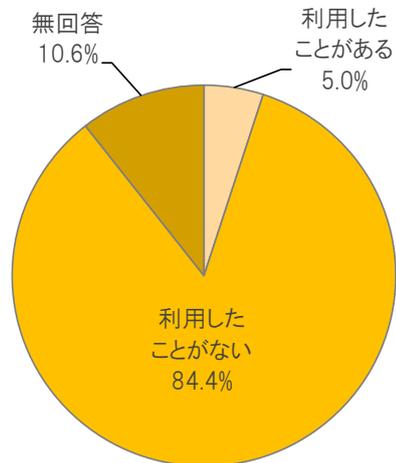
- 過去に武蔵野市民会館を利用したことのある人は37.5%です。
- 60歳以上の利用が多くなっています。特に60歳以上の女性は約半数が利用したことがあります。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」が2割強となっており、最も多い10～20歳代の女性も4割程度です。
- 「利用する必要・機会がない」という理由は3割半ばです。



武蔵野市民会館の利用の有無

### (8) 松露庵

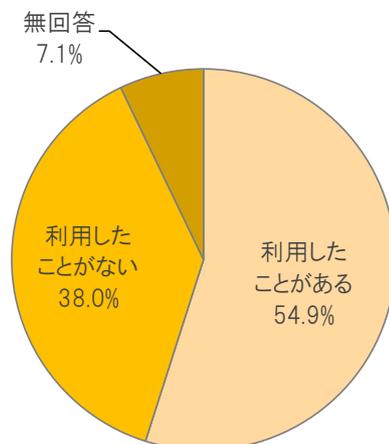
- 過去に松露庵を利用したことのある人は5.0%です。
- 文化への関心や鑑賞・活動状況、世代にかかわらず、利用は少なくなっています。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」が5割弱となっています。
- 「利用する必要・機会がない」という理由についても、4割を上回ります。



松露庵の利用の有無

### (9) 武蔵野プレイス

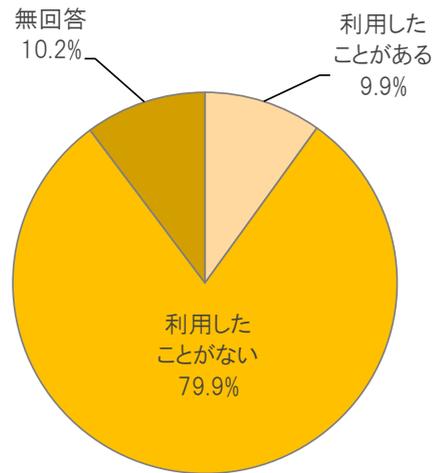
- 過去に武蔵野プレイスを利用したことのある人は54.9%です。
- 若い世代における利用も多く、年代で見ると男性・女性ともに10～20歳代で利用したことがある人が最も多くなります。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」が1割半ば、「利用する必要・機会がない」が2割半ばと、ともに少なくなっています。



武蔵野プレイスの利用の有無

### (10) 武蔵野ふるさと歴史館

- 過去に武蔵野ふるさと歴史館を利用したことのある人は9.9%です。
- 文化に関心のある人や鑑賞、文化的な活動をしている人も、利用したことのある人は1割程度となっています。
- 利用しない理由としては、「施設を知らない」が4割強です。特に10～20歳代の男性で多くなっています。
- 「利用する必要・機会がない」も4割半ばとなっています。



武蔵野ふるさと歴史の利用の有無

## 4. 市内の文化的要素～ヒト・拠点～

### 4-1. ライブハウス

○一般社団法人武蔵野市観光機構のホームページ「むー観」では、まちの音楽の魅力を紹介するページにて、吉祥寺音楽祭と武蔵境ジャズセッションとともに、ライブハウスを取り上げています。

○同ホームページでは、次の11か所のライブハウスが紹介されています。キャパシティの大きなところではスタンディングで500名を収容するSEATAから、小規模ながらも歴史の長い曼荼羅など、様々なライブハウスが吉祥寺を中心として点在しています。

- 曼荼羅
- シルバーエレファント
- 吉祥寺PLANET k
- サムタイム
- WARP
- クレッシェンド
- SHUFFLE
- SEATA
- MANDALA-2
- STAR PINE'S CAFE
- ROCK JOINT GB

### 4-2. ギャラリー

○武蔵野市内にはギャラリーやアートスペースが多数あります。そのなかでも次の3か所が、「文化に関する市民アンケート調査」にて、武蔵野市の文化的な魅力となる場所として名前が挙がりました。

- Art Center Ongoing(前述の社団法人Ongoingが運営)
- ギャラリーretail
- 吉祥寺ギャラリー

○ギャラリーやアートスペースは、画商・画廊だけでなく、ライブラリーやカフェを併設しながら独自の企画展を行うArt Center Ongoingや、雑貨店と併設されている貸しギャラリーなど、様々な形態があります。

○同アンケート調査では、1970～80年代にかけてビデオを用いたイベントの映像記録アーカイブスや有線放送による実験的な取組を行っていたVideo Information Center(VIC)の名前も挙がっていました。

### 4-3. 劇場・劇団

---

- 武蔵野市には、前進座という劇団があり、過去には吉祥寺南町に劇場も持っていました。
- また、東京無形文化財に指定されている江戸系あやつり人形による劇を上演する結城座も、過去には武蔵野市に拠点を置いていました。(現在は小金井市)

### 4-4. 市内に住むアーティスト・作家等

---

- 「文化に関する市民アンケート調査」では、創作や公演・イベント等に関係する文化的な活動を行っている人は、回答者758人のうち31.4%でした。
- そのうち、アーティスト・作家として活動している人、クリエイティブ職として活動している人はそれぞれ9.7%いました。また、教室・団体の主宰者、指導者として活動している人は6.3%です。
- 調査結果にも表れているとおり、武蔵野市には、漫画家や俳優、アーティスト等が多く住んでいることが特徴です。市の広報紙「季刊むさしの」のむさしのTALKでも毎回、市内在住のアーティスト・作家にインタビューを行っています。

#### 【平成23年度以降にむさしのTALKで取り上げたアーティスト・作家等】

- いしかわじゅん氏(漫画家)
- 志茂田景樹氏(作家)
- 麿赤兒氏(俳優・舞踏家・演出家)
- 村松友視氏(作家)
- 乃南アサ氏(作家)
- 大友良英氏(音楽家)
- 上野千鶴子氏(学者)
- 水森亜土氏(画家・イラストレーター)
- 山田詠美氏(作家)
- 岸本葉子氏(エッセイスト)
- みなみらんぼう氏(シンガーソングライター)
- 槇村さとる氏(漫画家)
- 藤原正彦氏(数学者・作家)
- キン・シオタニ氏(イラストレーター)
- 団しん也氏(ジャズシンガー、俳優)
- 松居直美氏(オルガン奏者)

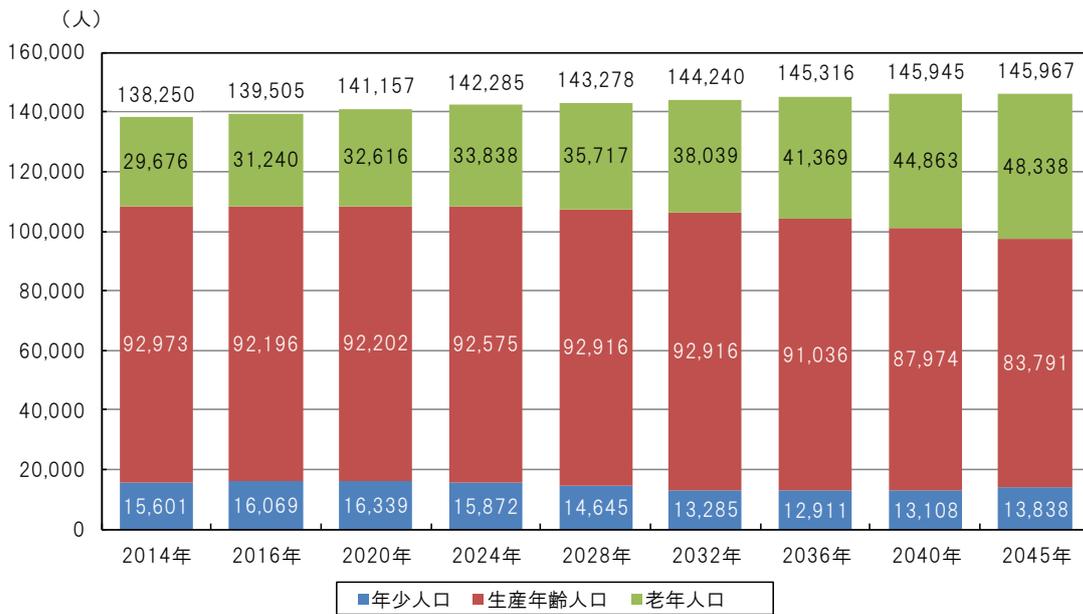
## 参考：武蔵野市の人口・財政

### 1. 将来の人口

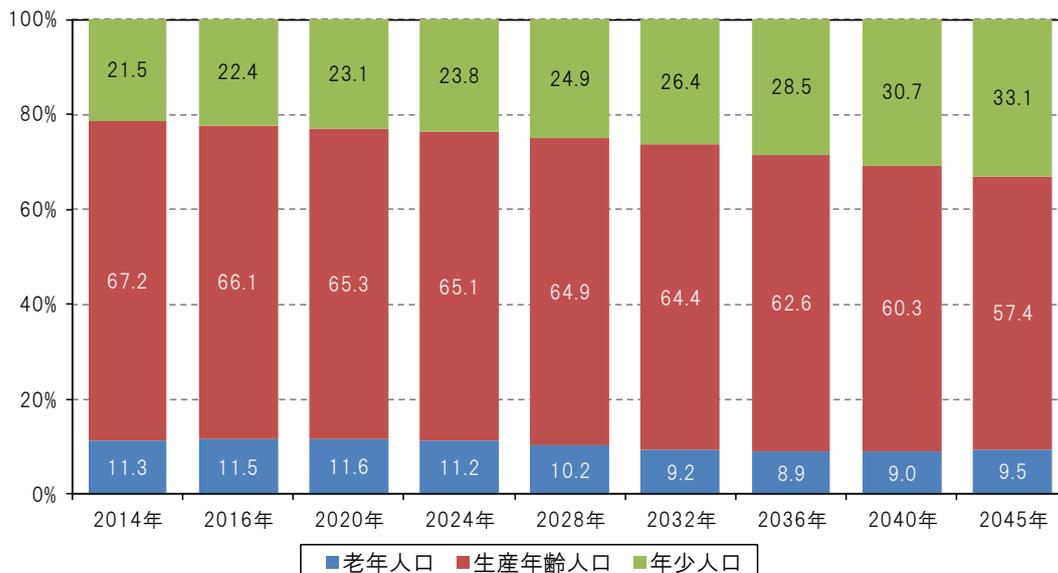
○武蔵野市にて平成26(2014)年度に実施した将来的な人口推計では、今後も人口は今後も微増をつづけ、2045年には約14.5万人に達すると予想されました。

○老年人口(65歳以上の人口)は今後も増加しつづける一方、生産年齢人口(15歳以上、65歳未満)は減少していきます。2014年に21.5%となっている高齢化率も2045年には33.1%となります。生産年齢人口の約半数が老年人口となります。

#### 【将来年齢3区分別人口】



#### 【将来年齢3区分別人口比率】

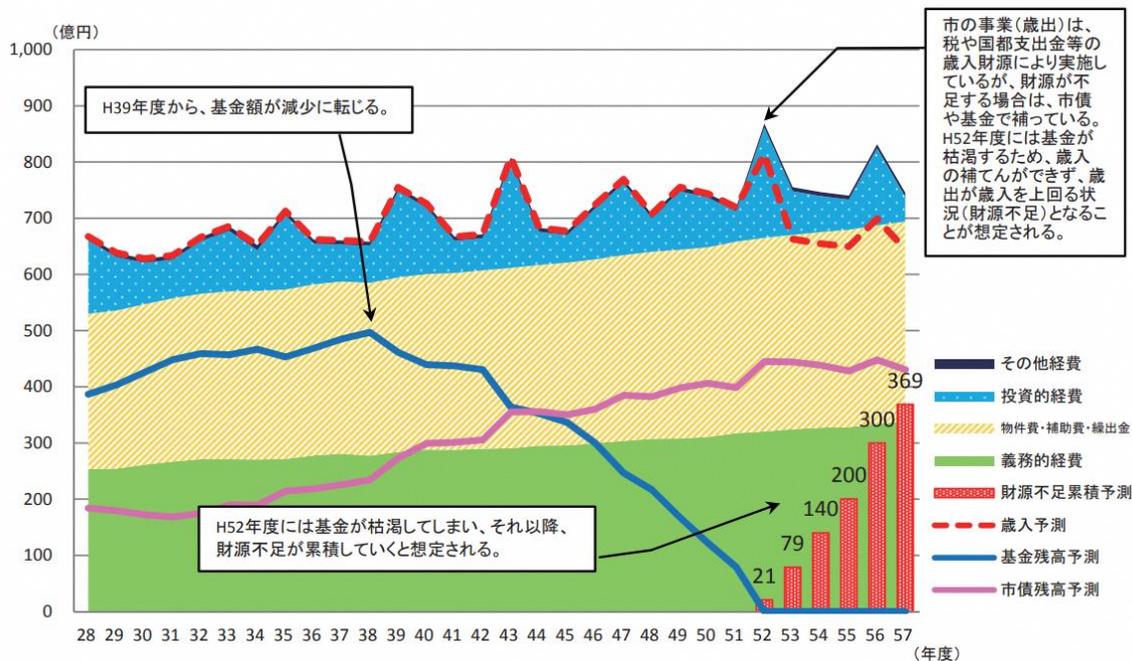


出典：武蔵野市の将来人口推計(平成26年)

## 2. 財政の長期予測

- 「武蔵野市公共施設等総合管理計画」(平成29年)での財政の長期予測では、武蔵野市の歳入は、生産年齢人口の減少にともなって税収が減少していくことが予想されています。さらに国からの負担金(国庫負担金)についても、国の財源不足から増加を見込むことは難しいと考えられています。
- 一方、老年人口の増加を背景として社会保障費の増加が見込まれ、また施設の老朽化に伴う改修費が必要となることから、歳出は増えることが予想されています。
- 同計画では、当面は財政状況は良好と考えていますが、長期的には財政運営が非常に厳しくなる可能性があることが言及されています。

### 【長期財政予測】



出典:「武蔵野市公共施設等総合管理計画」(平成29年)

※現在の社会経済状況や社会保障・税財政制度を前提に、将来人口推計に基づき予測。

※公共施設等は現状と同様の規模・仕様で更新し、公園や道路の整備は個別計画等に基づき着実に実施した場合を想定。

※特別会計を除く一般会計を対象としている。経常経費における削減も見込んでいる。